



# ほけんだより

令和6年3月4日  
川前小学校  
保健室だより

今年の冬は雪も少なく、日中は風は冷たいものの日差しが暖かな日も多くなってきました。インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等の流行は少しずつ減少していますが、「欠席0」が連続する日が川前小学校ではまだありません。3月も手洗いや体を冷やさないよう服装に気を付けるなど、自分でできる病気予防も油断せずに行いましょう。



川前小学校の健康情報

2月から引き続き、感染症の中ではインフルエンザB型が最も多くなっています。新型コロナウイルス感染症、溶連菌感染症、胃腸炎も少数出ています。毎日、20人以上お休みする日が続いています。

## 2月に健康まつりを行いました

今年も保健委員会の児童による健康まつりを行いました。業間の時間には、身長や体重測定、赤ちゃん抱っこ体験、手洗い実験のコーナーを設け、自由に参加してもらいました。1番人気は、身長測定コーナーでした。「先生見てー！伸びたー！」「わたしも！」と測定結果を書いてもらった紙を手に、うれしそうな様子が多く見られました。また、手洗い実験コーナーには、先生方も来てくださり、手洗いをしたにも関わらず予想外に汚れが残っている自分の手を見て、子供たち同様に驚いていました。

これからも川前小学校の児童が、自分の体に興味をもち、健康に気を付け生活をしていくことができるように、保健委員会の活動も工夫して行っていきたいと思います。



写 真

# 耳がふたつある理由



犬、猫、うさぎ、ライオン、  
キリン、そして人間。

思い浮かべてみてください。

耳は何個？

みんな二つありますね。

どうしてでしょうか。

それは、方向を感じるため。どの動物も、耳は頭の両側に  
離れてついています。だから、音が発生した方向によって、  
左右の耳で聞き取る音の大きさは少しずつ違います。その音  
の差で音の方向を感じているのです。



たとえば、車が後ろから近づいてきている  
ときなどは、耳から入ってくる情報が頼りです。片方だけで  
も病気やケガで聞こえなくなると、気付くことができなくな  
ることも。安全を守るためにも、ふたつの耳を大切に。

## 花粉症を予防しよう

花粉症は、スギやヒノキなどの植物の花粉を吸いこんだり、ふれたりすることで、鼻水やくしゃみ、目のかゆみなどの症状が起きます。そのため、花粉症の症状を軽くするには、できるだけ花粉を体内に入れないようにすることが大切です。

### 主な症状

くしゃみ

鼻水・鼻づまり

目のかゆみ



### 花粉を体に入れないためのポイント

花粉がつきにくい服装

室内に花粉を持ちこまない

外から帰ったら手洗い・

うがい

